

令和2年度宍粟市子ども・子育て支援事業計画の実績について

■地域子ども・子育て支援事業

(令和3年3月末現在)

事業名	R2年度計画	R2年度実績		計画との差 (B)-(A)	R2年度の実施状況
	量の見込み(A)	提供量(B)	利用希望者数		
①利用者支援事業 【保健福祉課】	2か所	2か所	2か所	0か所	母子保健型と基本型と2類型開所し、妊娠期から子育て期まで母子保健や子育て支援センター等と連携を取りながら包括的に切れ目なく支援を行っている。基本型は、子育て専門員によって子育てに関する相談や子育て情報の提供を行い、母子保健型は、特に支援が必要な母子に母子保健コーディネーター(保健師)が中心となって支援の調整等を行っている。
②時間外保育事業 (延長保育事業) 【こども未来課】	149人	81人	81人	△ 68人	認可保育所7所・こども園1園 実利用人員81人/延べ3,073人・日
③放課後児童健全育成事業 (学童保育所) 【こども未来課】	277人	282人	282人	5人	公立11所 218人(定員420人) 私立2所 64人(定員 76人) 合計 282人(定員496人)
④子育て短期支援事業 【保健福祉課】	7人	1人	1人	△ 6人	必要な事例があった場合に事業の利用が出来るように近隣の市町にある複数の児童養護施設等と委託契約を締結している。令和2年度は、1名延べ日数4日の利用があった。
⑤乳幼児家庭全戸訪問事業 【保健福祉課】	199人	178人	178人	△ 21人	保健師による全乳児を対象とした訪問を行っている。里帰り等のため、市内にいない乳児に関しては在住している先の母子保健担当へ依頼し訪問を行ってもらう体制となっている。出生数の減少により提供量が少なくなっている。
⑥養育支援訪問事業 【保健福祉課】	5人	0人	0人	△5人	必要な事例があった場合に事業の利用が出来るように体制は整えているが、必要な事例はなく利用もなかった。母子保健として保健師が継続して関わる必要がある場合は、訪問し相談や指導を実施している。
⑦地域子育て支援拠点事業 【保健福祉課】	713人	329人	329人	△ 384人	市内4か所の子育て支援センターで、親子のグループ活動や子育て講演会、イベント、子育て相談等を実施し親同士の交流を促進することで、子育て支援を推進している。子ども数の減少や新型コロナウイルスの影響もあり提供量が少なくなっている。

令和2年度栄栗市子ども・子育て支援事業計画の実績について

■地域子ども・子育て支援事業

(令和3年3月末現在)

事業名	R2年度計画	R2年度実績		計画との差 (B)-(A)	R2年度の実施状況
	量の見込み(A)	提供量(B)	利用希望者数		
⑧一時預かり事業 (幼稚園在園児対象)【こども未来課】	7,666人	5,592人	5,592人	△ 2,074人	幼稚園2園・こども園5園 実利用人員57人/延べ5,592人・日
⑧一時預かり事業 (幼稚園在園児以外)【こども未来課】	1,322人	518人	518人	△ 804人	認可保育所4所・こども園5園 実利用人員40人/延べ518人・日
⑨病児・病後児保育事業 【社会福祉課】	476人	57人	57人	△ 419人	利用登録者:68人 お便り(そらまめーる):年3回配布 ・市のHPや子育てアプリ、乳幼児健診等を活用して制度の周知を行ったほか、小学校・幼稚園・保育所・こども園に通学(通所)している保護者に対し、お便り(そらまめーる)を配布し、利用促進を図った。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、室内の換気を行うため加湿空気清浄機や扇風機を設置するなど、安心して利用できるよう保育環境の整備を行った。
⑩ファミリーサポートセンター事業 (就学児のみ)【社会福祉課】	299人	366人	429人	67人	会員数:234人 (お願い会員:106人、まかせて会員:113人、両方会員:15人) 活動回数:706件 交流会・講習会:1回 主な利用:学童保育所及び塾の送迎、登校前の預かりなど
⑪妊婦健康診査事業 【保健福祉課】	2,349人	1,973人	1,973人	△ 376人	母子健康手帳交付時に14回、93,000円分の妊婦健診助成券を交付し県内産婦人科受診時には自己負担がほとんどなく受診でき、経済的理由に関係なく妊婦健診を受けることが出来る体制となっている。県外医療機関で妊婦健診助成券を利用できない場合は償還払いにより負担支援を行っている。母子健康手帳交付数の減少により提供量が減少している。